

# たばこと薬の相互作用

平成18年の厚生労働省国民健康栄養調査によると、日本人の成人喫煙率は23.8%で、年々減少してきています。しかし、先進国と比較すると、日本はまだまだ喫煙率は高い状態にあるのが現状です。



喫煙は、「百害あって一利なし」と言われていますが、時としてさまざまな薬と作用して、患者様の薬物治療を妨げることもあります。以下にその例を示します。

薬の種類(薬品名)	相互作用
糖尿病治療薬(インスリン)	血糖降下作用が弱まる
高血圧薬(インデラルなど)	薬の効果が弱まる
経口避妊薬(ソフィアAなど)	心筋梗塞・血栓塞栓症等の心血管系の副作用が数十倍おこりやすくなる
解熱鎮痛剤(カロナールなど)	解熱鎮痛効果が弱まる
気管支拡張剤(テオドールなど)	気管支拡張効果が弱まる
三環系抗うつ薬(トフラニールなど)	抗うつ剤の効果が弱まる
精神神経用剤(セレネースなど)	薬の効果が弱まる
抗不安薬(ホリゾンなど)	薬の効果が弱まる
胃薬(ガスター、タケプロンなど)	喫煙により、血の巡りが悪くなるため、症状を悪化させる恐れがある。

※上記薬剤は当院採用薬です。該当する薬剤すべてを記載することは困難な為、ご自身で飲んでいる薬剤が該当するかどうかは薬の説明書で確認するか、かかりつけ薬局などの薬剤師にご相談下さい！



これらの薬はその一部に過ぎません。実際は非常に数多くの薬がたばこで相互作用を起こします。いざという時に、薬の効果を最大限に発揮させるためにも、ぜひとも禁煙することをおすすめします。薬剤の服用上は特に問題はなくとも、健康の維持、生活習慣病や癌の一次予防のためにも、禁煙は重要です。さしあたり、元気の源は禁煙からとでもいいたいでしょうか…。

次回はお酒と薬の相互作用についてご紹介します。

